

5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実 施 事 業	白石踊後継者育成事業（生涯学習課）
総 事 業 費	1,555,000 円
ふるさと納税充当額	1,455,000 円

白石踊は白石島に古くから伝わる盆踊りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、白石踊をはじめとする41の踊りが「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言伝えられています。地元白石島の人を中心とする「白石踊会」が保存伝承に努めています。

本事業では、白石踊会が踊り手を育成する定期練習会や、白石踊体験・鑑賞ツアーに合わせて行う出前講座、イベントへの参加などを支援しています。定期練習会では、白石踊会笠岡支部の会員に指導を行い踊りの技術の向上を図ったほか、踊りの担い手を増やすために新会員を募り、踊り方を丁寧に指導しています。また、島内外のイベントにおいて白石踊を披露し、多くの人に踊りの魅力を伝えています。

このほかに、備品や道具類を新調しました。こうした活動が白石踊の伝承・普及につながっています。



白石踊会笠岡支部定期練習会の様子



白石踊体験・鑑賞ツアー

実 施 事 業	遍照寺の枝垂れいちょう保護事業（生涯学習課）
総 事 業 費	40,986 円
ふるさと納税充当額	33,000 円

市指定天然記念物「遍照寺の枝垂れいちょう」は、傍らにある「遍照寺多宝塔」（国重要文化財）が慶長 11 年(1606)に建立されたのを記念して植樹されたといわれています。推定樹齢約 400 年、幹の周囲 3.8m、高さ 25m の巨木で、笠岡の町のシンボルのような存在です。

枝垂れいちょうは「いちょう公園」内に立っています。令和 6 年夏、例年になく大豊作となった銀杏の重みに耐えかね、大枝が折れて落下する事案が発生しました。そこで、枝垂れいちょうの生育状況を把握して、適切に保護措置を講じるために、天然記念物樹木の治療を数多く手がけた樹木医による現地診断を実施しました。その結果、樹木医から枯れ枝や土壌の踏み固め等、いくつかの問題点を指摘されました。

今後は診断の結果を踏まえて、いちょうの木を適切に管理し、末永く守り伝えていきます。



実 施 事 業	竹喬美術館輸送・展示・撤収事業（生涯学習課）
総 事 業 費	5,832,274 円
ふるさと納税充当額	2,165,000 円

令和 6 年度は、竹喬美術館において 5 回の展覧会を開催しました。美術品の取扱いには高度な技術を求められ、展覧会に係る作品の借用，輸送，展示，撤収業務を美術品梱包輸送技能士の資格を有する作業員がいる業者に委託しています。

【令和 6 年度展覧会】

- | | | |
|-------|------------------|-----------|
| ①テーマ展 | 国画創作協会の画家たち | 4/1～6/30 |
| ②特別展 | 芸術の都（パリ）に集った巨匠たち | 7/13～9/8 |
| ③テーマ展 | 没後 20 年 金谷朱尾子 | 9/21～11/4 |
| ④特別展 | 日本画家 入江酉一郎のどうぶつ画 | 11/16～2/2 |
| ⑤テーマ展 | 竹喬美術館ゆかりの画家たち | 2/15～3/31 |



特別展 芸術の都（パリ）に集った巨匠たち 展示室の様子

実 施 事 業	笠岡ふるさと再発見事業（生涯学習課）
総 事 業 費	140,897 円
ふるさと納税充当額	140,897 円

令和6年度で10回目となった「笠岡へ愛着を持ち隊」は、小学生とその保護者に、笠岡の良いところに訪れる機会を提供し、笠岡のことをもっと知って、もっと好きになってもらうことを目指しています。具体的には市内の小学生とその保護者に、『文化財めぐりハンドブック』に掲載された市内の文化財や文化施設を巡り、そのレポートを作成してもらいました。

令和6年度は、募集の結果、42人からの応募がありました。レポートの提出者全員に笠岡市の文化財クリアファイルを贈呈しました。審査で最優秀に選ばれた2人には笠岡の特産品を、努力賞に選ばれた5人には図書カードをさし上げました。

さらに優秀な作品を市立図書館に展示して、多くの皆さんに見ていただきました。



生涯学習フェスティバルでの優秀作品の展示

実 施 事 業	井笠鉄道記念館管理事業（生涯学習課）
総 事 業 費	1,136,200 円
ふるさと納税充当額	810,000 円

笠岡市井笠鉄道記念館は、井笠鉄道の歴史を後世に伝えるために、笠岡市が引き継いで平成 26 年 3 月 30 日に開館しました。大型連休、夏休みになどには親子連れの方も多く、令和 6 年度は 3,000 人近くのお客様が来館されました。

井笠鉄道記念館の管理と運営に携わる新山地区自治会の皆さんが、日常管理や、掃除、来館者へのおもてなしを行っています。関連行事として、12 月から 1 月の夜間には、展示車両や記念館の建物がイルミネーションで飾られました。例年、工夫を凝らした関連行事で楽しませてくれており、井笠鉄道記念館は、地域の中に根付いた施設になっています。

そのほかに、人気がありながら完売となっていた冊子「現存する井笠鉄道の車両」を増刷しました。

今後も、来館されるお客様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



屋外展示の機関車

実 施 事 業	文化財案内看板作成設置事業（生涯学習課）
総 事 業 費	61,600 円
ふるさと納税充当額	61,600 円

笠岡市では、見学可能な国・県・市指定の文化財に説明板を設置しています。また年月を経た説明板は、傷んだり破損したりしていることがあり、年次的に更新しております。

令和6年度は、走出にある持宝院の梵鐘(県指定重要文化財)に説明板を設置しました。

この梵鐘には、鎌倉時代の建長3年(1251)に鑄造された銘文が残っています。銘のある梵鐘としては県内最古のものです。もとは井原市にあった頂見寺に寄進された鐘です。紆余曲折を経て、永禄12年(1569)に延福寺(現在の持宝院がある場所にあったお寺)が所有するようになり、その後、持宝院に受け継がれました。延福寺が所有するに至る経緯も鐘に刻まれています。

新しい説明板には、大きさや形などの基本情報だけでなく、銘文の内容についても詳細に記載しました。皆さんにより関心をもって読んでいただけるようになりました。

このほかに、持宝院の境内にあった医療施設 悲眼院の説明板も新設しました。

これからも文化財説明板の適切な維持管理に努めるとともに、解説内容についても、より分かりやすいものとなるよう工夫してまいります。



持宝院の梵鐘(県指定重要文化財) 説明板

実 施 事 業	文化財保護事業（生涯学習課）
総 事 業 費	634,000 円
ふるさと納税充当額	634,000 円

笠岡市では、文化財保護事業補助金によって、文化財を保存し後世に伝えるための取り組みを支援しています。令和 6 年度には、神護寺本堂防災設備整備事業、諏訪神社のクスノキ保存剪定事業、清水氏庭園石垣修理事業について補助を行いました。

室町時代末に建立された神護寺本堂(県指定重文)は、老朽化して作動しなくなった火災センサー等を新しいものに取り換えたほか、本堂内部に感知器を増設しました。

諏訪神社のクスノキ(市指定天然記念物)は高さ 26m、幹周り 4.9m、推定樹齢約 400 年の巨木です。枯れ枝が隣地や社殿、道路に落下して人や建物に被害を与える可能性が出てきました。このたび枯れ枝の剪定を実施したことで、樹勢を維持するとともに、落下の危険性を取り除くことができました。

清水氏庭園(国登録記念物)は江戸時代に築かれた庭で、露岩を巧みに取りこんだ豪壮な景観が特徴です。庭園内にある池の護岸石垣の一部が崩れていたため、石垣の復旧を行いました。



清水氏庭園石垣 修復前



清水氏庭園石垣 修復後